



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月9日

上場会社名 本州化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福山 裕二
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和田 和興 (TEL) 03-3272-1481
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	14,480	△5.6	2,361	14.1	2,331	13.1	1,361	22.6
2020年3月期第3四半期	15,341	3.3	2,070	△15.8	2,061	△14.6	1,110	△18.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,945百万円(46.6%) 2020年3月期第3四半期 1,327百万円(△14.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	118.66	—
2020年3月期第3四半期	96.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	30,451	22,502	67.8
2020年3月期	29,629	21,480	65.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 20,650百万円 2020年3月期 19,488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	12.00	—	20.00	32.00
2021年3月期	—	12.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△6.0	3,100	2.8	3,000	0.6	1,800	3.7	156.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

本業績予想には現状において新型コロナウイルス感染症の影響を加味しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付書類4ページ(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	11,500,000株	2020年3月期	11,500,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	23,212株	2020年3月期	23,106株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	11,476,868株	2020年3月期3Q	11,476,894株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。内部需要の一部や外部需要に回復の動きが見られたものの、雇用者数の減少が継続するなど、厳しい状況が継続しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、自動車市場等が新型コロナウイルス感染症の影響を受け需要が落ちましたが、情報関連財市場はゲーム機やパソコンが伸長しました。ビタミンE向けクレゾール誘導品、光学レンズ材料も堅調な需要が継続しました。加えて、原油市況の下落に伴い原材料価格が大幅に低下しました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は14,480百万円(前年同四半期比5.6%減)、営業利益は2,361百万円(同14.1%増)、経常利益は2,331百万円(同13.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,361百万円(同22.6%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

詳細につきましては、(セグメント情報等)に記載のとおりであります。

<化学品>

・ビフェノール

ビフェノールは、パソコン、スマートフォンやデジタル家電等の情報通信機器の電子部品に用いられる液晶ポリマー(LCP)や医療、航空機分野等で使用されるポリフェニルスルホン(PPSU)の原料として使用されております。

当第3四半期連結累計期間においては、海外向け需要の回復、国内向け需要の増加がありましたが、円高・原料価格低下による売価下落のため、売上高は前年同四半期を若干下回りました。

・クレゾール誘導品

クレゾール誘導品は、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料や電子材料及び酸化防止剤等の原料として使用されております。

当第3四半期連結累計期間においては、酸化防止剤需要の回復、ビタミンE向け需要は堅調に推移したものの、円高・原料価格低下による売価下落のため、売上高は前年同四半期を下回りました。

この結果、化学品セグメントについては、売上高は6,432百万円(前年同四半期比6.1%減)、総売上高に占める割合は44.4%となり、セグメント利益は原材料市況の大幅な下落等の影響により971百万円(同80.4%増)となりました。

<機能材料>

・電子材料

当社の電子材料は、半導体及びフラットパネルディスプレイ(液晶・有機ELディスプレイ)等の製造過程で使用されております。

当第3四半期連結累計期間においては、通信量増・ゲーム機やパソコンの伸長を受け半導体を中心に堅調な需要が継続し、加えて上半期好業績の寄与もあり、売上高は前年同四半期を上回りました。

・光学材料用途特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールを原料とした樹脂は、耐熱性、光学特性に優れているため、特殊ポリカーボネート樹脂(光学・電子部品用途向け)の原料として使用されております。

当第3四半期連結累計期間においては、好調な需要が継続し、売上高は前年同四半期並みで推移しました。

この結果、機能材料セグメントの売上高は、3,640百万円(前年同四半期比8.3%増)、総売上高に占める割合は25.1%となり、セグメント利益は676百万円(同4.6%減)となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールは様々な用途に使用されており、主なものに成形材や自動車部品用途向けポリカーボネート原料があります。

当第3四半期連結累計期間においては、成形材向けが漸増している一方、新型コロナウイルス感染症の影響により自動車部品用途の需要が落ち込み、売上高は前年同四半期を下回りました。

・受託品

受託品の売上高はほぼ前年同四半期並みとなりました。

この結果、工業材料セグメントの売上高は、4,158百万円(前年同四半期比13.5%減)、総売上高に占める割合は28.7%となり、セグメント利益は1,250百万円(同8.1%減)となりました。

<その他>

販売用役等のその他セグメントの売上高は249百万円(前年同四半期比21.7%減)、総売上高に占める割合は1.7%となり、セグメント利益は4百万円(同83.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は30,451百万円となり、前年度末に比べ822百万円増加しました。これは流動資産が、現金及び預金の増加(1,942百万円)、売掛金の減少(1,617百万円)等により、前年度末に比べ419百万円増加し、20,045百万円となったこと、また固定資産が、前年度末に比べ402百万円増加し、10,405百万円となったことによります。

負債は7,948百万円となり、前年度末に比べ200百万円減少しました。これは流動負債が、設備関係未払金の増加(201百万円)、買掛金の減少(329百万円)、未払法人税等の減少(78百万円)等により、前年度末に比べ181百万円減少し、5,011百万円となったこと、また固定負債が前年度末に比べ18百万円減少し、2,937百万円となったことによります。

純資産は22,502百万円となり、前年度末に比べ1,022百万円増加しました。これは利益剰余金の増加(994百万円)等によります。

この結果、自己資本比率は67.8%と前年度末に比べ2.0ポイントの上昇となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月14日に公表いたしました業績見通しの数字については、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて、以下のとおり修正しております。

情報関連財市場に於けるゲーム機・パソコン伸長により当社製品の販売が堅調であったこと、及び原油市況下落に伴う原材料価格低下の影響もあり、当社グループの第3四半期連結累計期間の営業利益が当初の予想を上回って推移しております。また、今後も半導体関連電子材料の堅調な需要が継続する見込みであることから、当社グループの2021年3月期通期の業績は、前回発表の予想より増益となる見通しです。

2021年3月期通期業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,000	2,500	2,400	1,350	117.63
今回修正予想(B)	20,000	3,100	3,000	1,800	156.84
増減額(B-A)	—	600	600	450	
増減率(%)	—	24.0	25.0	33.3	
(ご参考)前期実績(2020年3月期)	21,284	3,016	2,981	1,735	151.22

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,530	10,473
売掛金	6,154	4,536
商品及び製品	3,402	3,456
仕掛品	365	260
原材料及び貯蔵品	1,082	1,207
その他	90	112
流動資産合計	19,626	20,045
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	5,792	5,384
その他(純額)	3,290	4,137
有形固定資産合計	9,082	9,522
無形固定資産	36	30
投資その他の資産	883	852
固定資産合計	10,002	10,405
資産合計	29,629	30,451
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,174	1,844
短期借入金	1,000	1,000
未払費用	389	234
未払法人税等	407	328
役員賞与引当金	37	23
設備関係未払金	339	540
その他	844	1,039
流動負債合計	5,192	5,011
固定負債		
退職給付に係る負債	2,188	2,231
その他	766	705
固定負債合計	2,955	2,937
負債合計	8,148	7,948

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	17,139	18,134
自己株式	△14	△14
株主資本合計	19,638	20,633
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△89	46
退職給付に係る調整累計額	△60	△28
その他の包括利益累計額合計	△150	17
非支配株主持分	1,991	1,852
純資産合計	21,480	22,502
負債純資産合計	29,629	30,451

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	15,341	14,480
売上原価	11,594	10,410
売上総利益	3,747	4,069
販売費及び一般管理費	1,677	1,708
営業利益	2,070	2,361
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	10
投資有価証券売却益	36	—
為替差益	—	7
受取保険金	32	5
スクラップ売却益	2	1
受取補償金	0	—
その他	1	0
営業外収益合計	76	26
営業外費用		
支払利息	28	25
撤去費用	39	22
その他	17	8
営業外費用合計	84	56
経常利益	2,061	2,331
税金等調整前四半期純利益	2,061	2,331
法人税等	613	661
四半期純利益	1,448	1,670
非支配株主に帰属する四半期純利益	337	308
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,110	1,361

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,448	1,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	—
為替換算調整勘定	△92	243
退職給付に係る調整額	16	31
その他の包括利益合計	△120	275
四半期包括利益	1,327	1,945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,033	1,529
非支配株主に係る四半期包括利益	294	416

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて、同感染症の収束時期等を含む仮定の重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,853	3,362	4,807	15,023	318	15,341	—	15,341
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	6,853	3,362	4,807	15,023	318	15,341	—	15,341
セグメント利益	538	709	1,360	2,607	28	2,636	△566	2,070

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△566百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△566百万円が含まれております。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,432	3,640	4,158	14,231	249	14,480	—	14,480
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	6,432	3,640	4,158	14,231	249	14,480	—	14,480
セグメント利益	971	676	1,250	2,898	4	2,902	△541	2,361

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△541百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△541百万円が含まれております。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「機能材料」に含まれていた特殊ビスフェノールの一部を「工業材料」に移管しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、報告セグメント変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。